



① 青山義雄《母と子》 1926年 油彩・キャンパス 46.3×55.4cm 目黒区美術館蔵

目黒区美術館コレクション展

わたしの言葉をあなたに届ける

日々のよろこび2024

MMAT Collection: My Words to You "Our Daily Joy 2024"

2024.10.12^{SAT}—11.17^{SUN} 目黒区美術館

10:00—18:00 (入館は17:30まで) 会場：本館2階

月曜休館、ただし10月14日(月・祝)と11月4日(月・休)は開館、10月15日(火)と11月5日(火)は休館

一般700(550)円、大高生・65歳以上550(400)円、中学生以下無料

*障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと11月15日(金)は無料、それ以外の日は団体料金になります(他の割引との併用はできません)

主催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協賛：公益財団法人北野生涯教育振興会 協力：にわか劇団けだもの界限

同時期開催

障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2024
会期：2024年10月26日(土)—11月17日(日) 会場：本館1階
※入場無料

展覧会概要

同時期開催の「障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび 2024」に合わせて、当館のコレクションより、作家がそれぞれの「日々」つまり「日常」に目を向けて表現している作品に着目し、展示をとおして美術館で作品を見ることを柔らかく考え直してみたいと思います。

鑑賞する私達は、作品を前に何を思うでしょうか。例えば、作家の対象への眼差しや、描かれた人物たちの関係性、心の機微や感情などに思いを巡らせることができます。しかし、見方は一通りではありません。美術館では、時間が経っても作品の状態が変わらぬように保管していますが、それらを鑑賞する私達の受け止め方や作品の価値は、時代とともに変化しているはずで

本展は、そうした変化を視覚化、聴覚化し、自分以外の他者がどのように鑑賞しているのかを知る機会とするために、「静かに見る」という美術館の鑑賞マナーを緩めてみたいと思います。作品と対峙して感じた言葉を紙に書きとめて壁面に貼り付けていくインスタレーションや、それらを朗読した音源の展示などをとおして、他者の言葉が当たり前そばにある展示空間を作ります。展示室を介して様々な人が関わり合い、相互に鑑賞を深めていく見方の実験を、コレクション展を通じて試みます。

展示構成

- 1 身の回りのいつもの風景
- 2 日常のふとした瞬間
- 3 細やかな生活感情と親密さ
- 4 没頭する姿、その時間
- 5 かたちを探るよろこび

みどころ

●書いて読んでシェアする

来館者が感じたことを紙に書いたものが会場内に貼りだされ、他の誰かにシェアされます。

●展示室では静かに鑑賞？ 聴いてシェアする

作品にまつわるお話や、鑑賞を深める対話を舞台俳優が朗読し、その音声が会場内に流れます。来館者によって書かれた言葉の一部も後日朗読され、会期中に一回音声の内容が変わります。静かな鑑賞を推奨する美術館としては異例の展示となります。

●わたしの言葉をあなたに届け、「見る」を深めて、さらにつなげる

言葉を介して、見る行為を相互に深め、さらにつなげていく、展示室をそんな場所にします。

ただ作品を見るだけではない

「日常」をテーマに、言葉を介して

様々な人々がつながる、「非日常」的な展覧会



②



③



④



⑤



⑥



⑦

① 青山義雄《母と子》1926年 油彩・キャンバス 46.3×55.4cm

② 池田満寿夫《ベッドに横たわる女》1964年 油彩・キャンバス 65.2×80.3cm

③ 山下新太郎《読書》1955年 油彩・キャンバス 27.2×19.0cm

④ 中村義夫《午睡》1921-26年頃 バステル・紙 51.0×66.1cm

⑤ 白瀧幾之助《素描》制作年不詳 木炭・紙 43.7×57.6cm

⑥ 須山計一《素描（雑司ヶ谷の風景）》1923年 鉛筆、インク、水彩・紙 18.1×13.7cm

⑦ 武内鶴之助《風景》1910-12年頃、バステル・紙 11.5×18.5cm

※作品はすべて目黒区美術館蔵

開催情報

- タイトル 目黒区美術館コレクション展
わたしの言葉をあなたに届ける 日々のよろこび 2024
- 会 期 2024年10月12日(土)ー11月17日(日)
- 会 場 目黒区美術館 本館2階
- 開館時間 10:00ー18:00 (入館は17:30まで)
- 休 館 日 月曜日 [ただし、10/14(月・祝)と11/4(月・休)は開館、10/15(火)と11/5(火)は休館]
- 観 覧 料 一般 700(550)円、大高生・65歳以上 550(400)円、中学生以下無料
※障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金
※目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと11/15(金)は開館記念日のため無料、
それ以外は団体料金になります(他の割引と併用はできません)
- 主 催 (公財) 目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
- 協 賛 公益社団法人北野生涯教育振興会
- 協 力 にわか劇団けだものの界限
- 交通機関 JR 山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線 「目黒」駅(西口)から徒歩10分
東急東横線・東京メトロ日比谷線 「中目黒」駅から徒歩20分
東急バス 「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分

関連催事

■白鳥建二さんとめぐる「わたしの言葉をあなたに届ける」展鑑賞ツアー

日時：11月10日(日) 第1回:10:30-12:30 / 第2回:14:00-16:00

場所：本館2階本展会場 参加方法：事前申込制

参加費：無料(ただし、当日有効の本展観覧券が必要です)

本展を全盲の美術鑑賞者・白鳥建二さんとめぐります。白鳥さんの活動を紹介した書籍『目の見えない白鳥さんとアートを見にいく』は、2022年Yahoo!ニュース|本屋大賞のノンフィクション本大賞を受賞し、同年にドキュメンタリー映画も制作され、現在でも各地で上映されています。

■大人のための美術カフェ

日時：11月4日(月・休) 15:00～(40分程度)

場所：本館2階本展会場

参加方法、定員：当日先着順、20名程度

参加費：無料(ただし、当日有効の本展観覧券が必要です)

担当学芸員が展覧会の見所やエピソードを語ります。

広報用写真

本リリース掲載の図版①～⑦を本展広報用写真としてご提供いたします。

ご希望の方は、申込用紙(4ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をご記入いただき、FAXでお申込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにてお申し込みください。

本展の問合せ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸) 誉田(こんだ) / 広報担当(事務) 鈴木

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 tel. 03-3714-1201(代) fax. 03-3715-9328

e-mail: mmatoffice@mmat.jp https://www.mmat.jp

宛先：目黒区美術館「わたしの言葉をあなたに届ける」展 担当者 宛

FAX：03-3715-9328 E-mail：mmatoffice@mmat.jp

- 本票に必要事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の図版番号をお知らせ下さい。掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

お申し込み日	年 月 日		
御社名			
ご担当者氏名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
掲示媒体名 (雑誌名など)			
メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 () 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ()		
発行・放送予定日	年 月 日		
ご希望の画像	<p>図版番号</p> <p>①～⑦のご希望の図版番号をご記入ください</p>	<p>使用条件等</p> <p>*写真画像への文字載せは不可です。 *原則、写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *各作品のキャプションを必ず明記してください。 *①については、入稿前に著作権者への確認が必要です。(申請に時間がかかる場合があります。)</p>	
連絡欄			

- お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。
- 使用にあたっては、【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。必ずご確認くださいませますようお願いいたします。

【広報用画像について】

- ・画像データはメールにて送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- ・使用後、データは破棄してください。
- ・展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- ・画像への文字載せは不可です。
- ・画像使用の際は、キャプション、クレジットを明記してください。
- ・掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。
- ・Webサイトは公開後にURLをお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。

◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を读者プレゼント用に提供いたします。ご希望の方は下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を [希望する ・ しない]

< 広報用画像に関する問い合わせ先 >

目黒区美術館
TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328
展覧会担当：(学芸) 菅田(こんだ)
(広報・事務) 鈴木・丸